

## 「平均入学定員充足率計算表」作成要領

### 1 対象

- **評価実施年度に入学する学生を募集している**学部・研究科・専攻科・別科（以下「学部等」。）及び学科（課程）・専攻等。

### ※ 改組に関する考え方

- **評価実施年度以前に学生募集を停止した学部等及び学科（課程）・専攻等については記入しないことを原則**としてください。

（例1） A学科、B学科を改組し、平成23年度にAB学科を設置した場合（A学科、B学科を融合させてAB学科を設置した場合）

→ 平成23年度、平成24年度のAB学科のデータを記入してください。

平成22年度以前のA学科、B学科のデータについては記入しないでください。

（例2） A学科、B学科を廃止し、平成23年度にX学科を設置した場合（A学科、B学科の入学定員を利用して新たにX学科を設置した場合）

→ 平成23年度、平成24年度のX学科のデータを記入してください。

平成22年度以前のA学科、B学科のデータについては記入しないでください。

（例3） A学科、B学科を設置するA学部でB学科を廃止し、平成23年度にB学部B学科を設置した場合（学科を学部へ改組）

→ A学部：平成20年度～平成24年度のA学科のデータを記入してください。

→ B学部：平成23年度、平成24年度のデータを記入してください。

（例外1）平成22年度にA専攻（修士課程）をA専攻（博士前期課程）に課程変更した場合

→ A専攻（博士前期課程）として記入してください。平成20年度、平成21年度のデータについてはA専攻（修士課程）のものを記入してください。

（例外2）平成22年度にA学科をAA学科に名称変更した場合

→ AA学科として記入してください。平成20年度、平成21年度のデータについてはA学科のものを記入してください。

### 2 記入単位

- **1ワークシートに1学部等**のデータを記入してください。学部等を構成する**学科（課程）・専攻等の学生募集単位ごと**に志願者数、合格者数、入学者数、入学定員をそれぞれ記入してください。
- 志願者数、合格者数、入学者数は、当該学科（課程）・専攻等の学生募集単位ごとに実施している**入学試験（一般前期・後期、推薦等。）での志願者数、合格者数、入学者**

**数（私費・国費留学生を含む。）をそれぞれ合計した数**を記入してください。

※ 「学生募集単位」の考え方

- 学士課程においては**学科（課程）ごと**、大学院課程においては**専攻ごと**に記入することを**原則**とし、さらにその下に募集定員を設定している場合（コース等）は、**募集定員を設定した単位ごと**に記入してください。

（例4） 教育学部初等教育教員養成課程で国語選修等の選修ごとに、中等教育教員養成課程では国語専攻等の専攻ごとに募集定員を設定している場合

→ **初等教育教員養成課程では選修、中等教育教員養成課程では専攻を学生募集単位**と考えてください。

（例5） 保健に関する学科に看護学専攻、臨床検査技術専攻、理学療法専攻、作業療法専攻等の複数の専攻（専攻に類するコース等も含む。）を設けて募集定員を設定している場合

→ **専攻等を学生募集単位**と考えてください。

（例6） 昼夜開講制を実施しており、A学科（昼間主コース）とA学科（夜間主コース）を設けて募集定員を設定している場合

→ **昼間主コースと夜間主コースそれぞれを学生募集単位**と考えてください。

A学科全体として、2つのコースの合計人数を記入するのではなく、各コースごとの人数をそれぞれ記入してください。

（例7） 学生募集は学部等全体であるが、理系、文系などの学科（課程）・専攻以外の募集単位を設け、それぞれ入学試験を実施している場合

→ **入学試験実施単位を学生募集単位**と考えてください。

（例8） 教科教育に関する研究科の専攻に国語教育、数学教育等の専修（専修に類するコース等も含む。）を設けて募集定員を設定している場合

→ **専修を学生募集単位**と考えてください。

（例外3） **学部等全体**で学生募集を行う場合

→ **学部等全体**の志願者数、合格者数、入学者数、入学定員を記入してください。

※ 夜間学部について

- 昼間学部と夜間学部を別の学部と考え、ワークシートを変えてそれぞれ記入してください。

※ 編入学定員についての考え方

- 一般入学試験等と同様に**入学試験実施年度を基準に、一般入学試験等とは別の募集単位として、編入学試験の種類・実施単位ごとに入学定員を具体的に設定しているもののみ、1年次入学試験とは別のワークシートに記入してください。募集定員若干名で行う編入学試験は記入しないでください。**

(例9) A学科、B学科からなるAB学部において一般入学試験（A学科、B学科ともに定員80人）と3年次編入学試験（A学科、B学科ともに定員20人）を実施した場合

→ ワークシート例1：AB学部のA学科、B学科の一般入学試験の志願者数、合格者数、入学者数をそれぞれ記入してください。

→ ワークシート例2：AB学部のA学科、B学科の3年次編入学試験の志願者数、合格者数、入学者数をそれぞれ記入してください。

(例10) A学科、B学科からなるAB学部において、一般入学試験（A学科、B学科ともに定員80人）と2年次編入学試験（AB学部全体で定員10人）3年次編入学試験（AB学部全体で定員20人）を実施した場合

→ ワークシート例1：AB学部のA学科、B学科の一般入学試験の志願者数、合格者数、入学者数をそれぞれ記入してください。

→ ワークシート例2：AB学部全体の**2年次編入学試験**の志願者数、合格者数、入学者数をそれぞれ記入してください。

→ ワークシート例3：AB学部全体の**3年次編入学試験**の志願者数、合格者数、入学者数をそれぞれ記入してください。

**2年次編入学試験と3年次編入学試験の定員を合わせて（編入学（定員30人）として）記入しないでください。**

※ 大学院について

- 1研究科に複数の課程（修士課程、博士前期課程、博士後期課程、一貫性博士課程等）を置く場合は、課程ごとにワークシートを作成してください。

## 集計用のワークシートについて

### 1 仕様

- 平均入学定員充足率計算表のエクセルファイルには、「集計用（1番目）」と「テンプレート（2番目）」の2種類のワークシートが用意されています。平均入学定員充足率計算表作成要領に従い、テンプレートに記入していただいたデータを、VBAマクロを利用して集計用のワークシートにコピーし、集計します。

### ※ マクロを有効にするために

- エクセルを立ち上げ、ツール（T）→マクロ（M）→セキュリティ（S）から、**セキュリティレベルを中に設定**のうえ（セキュリティレベルが高以上になっていた場合は、中に設定後エクセルを再起動してください。）、ファイルを開く際に**マクロを有効にする（E）**を選択してください。

### 2 マクロで行われる作業手順

- ① 2番目のワークシートのセル（A5：N159）の範囲を1番目のワークシートのセル（A5：N159）の範囲にコピーします。3番目以降のワークシートについては、160行目以降に同じようにコピーします。なお、J列からN列までは非表示となっていますが、志願者／入学定員と合格者／入学定員の5年分の平均値（5年分のデータが入力されていない場合は、入力されたデータ分のみの平均値）を計算するための中間データを格納しています。
- ② 志願者／入学定員の5年分の平均値のセルを参照し、セルが空欄の場合（志願者／入学定員のデータが1年分も算出されていない場合）に、A列からN列までの範囲をその行を含め下5行まで削除します。  
（例）セル（I20）が空欄の場合、セル（A20：N24）の範囲を削除

### 3 利用に当たっての注意点

- ① 集計用ボタンを押す際に、「**集計用**」のワークシートが**1番目**にないと機能しません。**「テンプレート」のワークシートをコピーする際等に「集計用」のワークシートが1番目以外の場所に移動しないようにしてください。**
- ② 入学定員を記入するセルに1以上の数字が入力されていない場合は、志願者／入学定員が計算されません（志願者／入学定員の5年分の平均値も計算されません。）ので、他のデータが入力されていても集計時にセルが削除されます。**入学定員を記入するセルに1以上の数字が入力されているかを確認してください。**
- ③ 集計用のワークシートは保護機能により編集不可としています。データを修正する場合は、各学科・研究科等ごとのワークシートを編集のうえ、再度集計してください。